

石油高・円安・ウクライナ紛争の影響に向けた経営状況に関する緊急調査（第8弾）
結果報告書

山口商工会議所、山口県央商工会、徳地商工会

- ◆目的：石油高・円安・ウクライナ紛争等を要因とした経営への影響調査
◆対象：全会員事業所
◆調査方法：当所月報アンケート及びヒアリング
◆調査期間：令和4年6月
◆回答数：452社

②御社の仕入（食材、建材、部材、商品・製品、電気、ガソリン・軽油等）の影響状況について

Q1（2）主要仕入品目を3つと品目それぞれの値上がり率について（前年対比、回答集計比較）
【主要品目の約40%が、値上がり率15%以上増加をしている】

値上がり率は、「15%以上増加」39%、「10%以上増加」30%、「5%以上増加」23%、「影響がない」8%の順となり、40%程度が「15%以上増加」と、仕入価格が値上がりしている現状が伺えた。

Q2 仕入不能、大幅遅れの影響について

【仕入の影響は半数以上（56%）が「ある」「少しある」】

「ある」が27%、「少しある」が29%、「ない」が44%と、「ある」「少しある」を回答した半数を超える事業所で仕入に影響が出ていることが伺えた。

Q3 希望数量の仕入状況について

【仕入状況は44%が仕入入荷に影響があると回答（「80%以上」「60%以下」「仕入れできない」を合わせて）】

「100%」が56%、「80%以上」が33%、「60%以下」が10%、「仕入れできない」が1%で、「80%以上」「60%以下」「仕入れができない」を回答した44%の事業所で仕入の入荷に影響が出ていることが伺えた。

Q4 Q1で値上がり率を①～③と回答された方へ、価格を転嫁しますか。（顧客に応じて消費者または取引先どちらかまたは両方回答）

【消費者向けは86%の事業所、取引先には84%の事業所が「価格転嫁する」「検討中」と回答】

【消費者】に向けた（B to C）価格転嫁については「転嫁する」が39%、「検討中」が47%、「転嫁しない」が14%と回答があった。

【取引先】に向けた（B to B）価格転嫁については「転嫁する」が40%、「検討中」が44%、「転嫁しない」が16%と回答があった。

Q5 価格が高騰している仕入は、売上全体の内、どの程度の割合を占めていますか。

【43%の事業所が、売上の「50%以上」の仕入が価格高騰していると回答】

「75%以上」が25%、「50%以上」が18%、「25%以上」が15%、「25%未満」が31%、「特になし」が11%と回答があった。「75%以上」と「50%以上」を合わせると43%の事業所が価格が高騰している仕入の売上割合が高い状況が伺える結果となった。

Q6 価格高騰・上昇、仕入の影響要因を選択し、順位を付ける（1, 2番目の回答合計）

【価格高騰・上昇の要因1位は「石油・原油高騰」】

「①石油・原油高騰」が58%（1番目）、22%（2番目）<296件>と回答が1番多かった。続いて2番目が「④中国のロックダウン」で20%、22%<143件>、3番目に「②ウクラ

イナ紛争」が12%、28%<131件>、最後4番目に「③円安」で10%、28%<121件>の回答結果となった

Q7 令和4年3・4・5月の「売上」の前年対比について

【45%が売上減少と回答】

【1番目】が「売上に影響なし」で35%、続いて「売上は増えている」、「20%以上減少」が21%、「5%以上減少」が19%とほぼ同率回答となった。また、「50%以上減少」が4%（16件）、「70%以上」が1%（5件）とゼロではなく、強く影響を受けている事業者がいることに注目する必要がある。

Q8 令和4年3・4・5月の「利益」の前年対比について

【利益減少の回答合計が55%と売上減少以上に利益減少の影響あり】

【1番目】が「利益に影響なし」で30%、【2番目】が「5%以上減少」で26%、【3番目】が「20%以上減少」で22%、【4番目】が「利益は増えている」で15%という結果になった。売上同様、利益でも「50%以上減少」が5%（22件）、「70%以上」が2%（10件）とゼロではなく、強く影響を受けている事業者が売上での調査より増えていることに注目する必要がある。

③賃上げについて

Q9-1 過去1年間で賃上げをされましたか。

【賃上げを行った事業所は39%】

「①定期昇給のみ」が29%、「②定期昇給+臨時昇給」が7%、「③特別賞与のみ」が3%、「④（賃上げを）していない」が61%の結果となり、定期昇給を行っている事業所は36%（①+②）にとどまり、「（昇給を）行っていない」事業所が61%と多い結果となり、経営状況に差が出ている状況が伺えた。

Q9-2 <Q9-1>で「（賃上げを）していない」と回答した事業所の今後賃上げについて

【賃上げをしていない事業所のうち、今後賃上げを行う予定の事業所は13%】

「定期昇給+臨時昇給予定あり」が0%（1件）、「定期昇給予定あり」が9%、「特別賞与のみ予定あり」が4%、「予定はない」が87%の結果となり、ほとんどの事業所が今後も昇給を行えない見込みであることが伺え、厳しい経営状況であることが伺えた。

④従業員・パートの募集について

Q10 従業員・パートを募集して応募がありますか

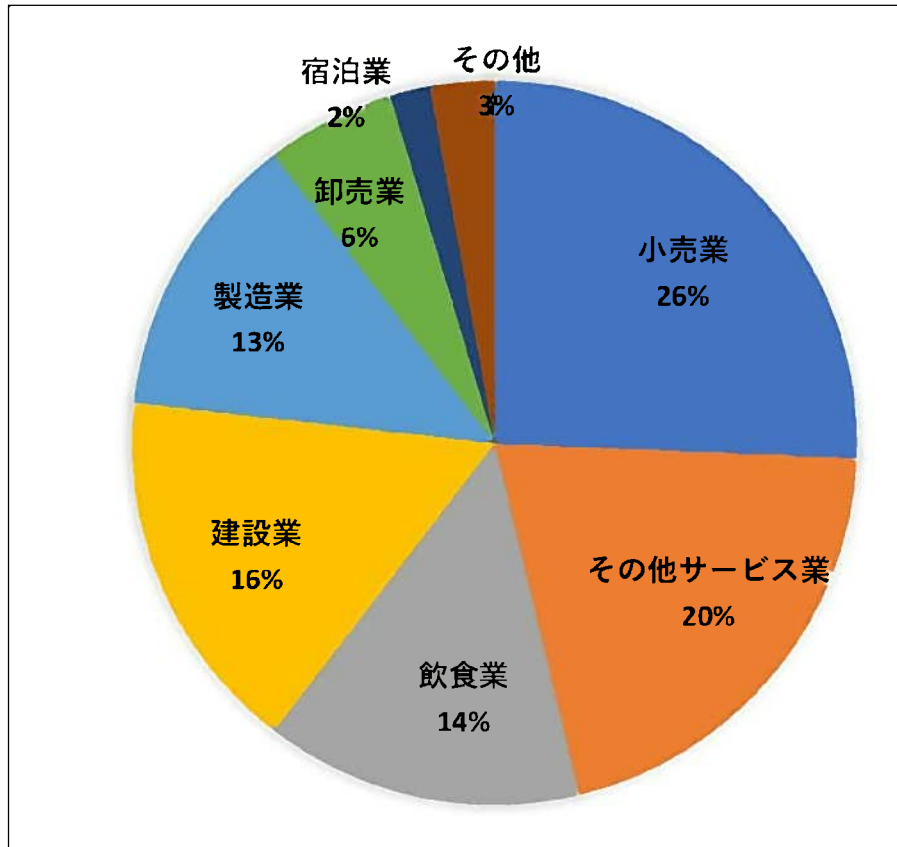
【38%の事業所が従業員・パート募集を行っている】

「多数ある」が4%、「少しある」が21%、「全くない」が13%、「募集していない」が62%と、人材獲得に苦勞しており、人材不足につながっている状況が伺えた。

①業種について
御社に当てはまる業種（複数業種の場合は主たる業種）を選んでください。

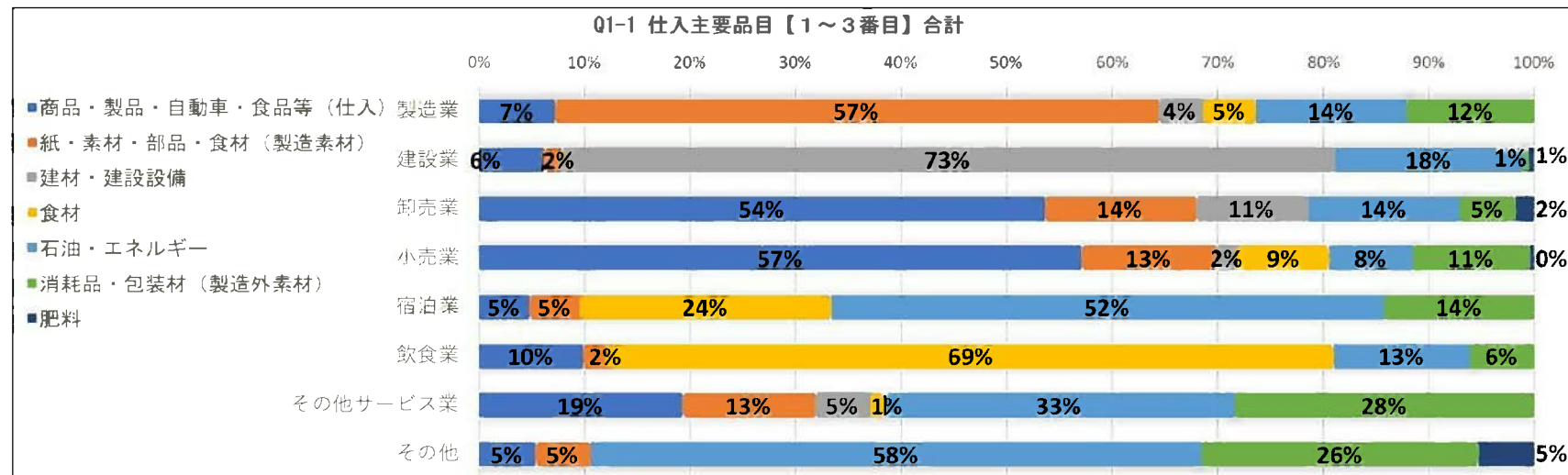
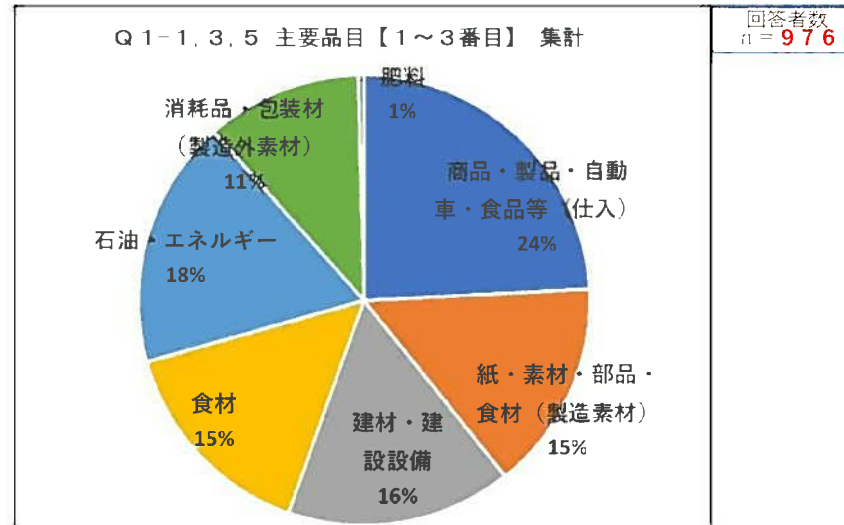
①業種について

回答者数 n = 452

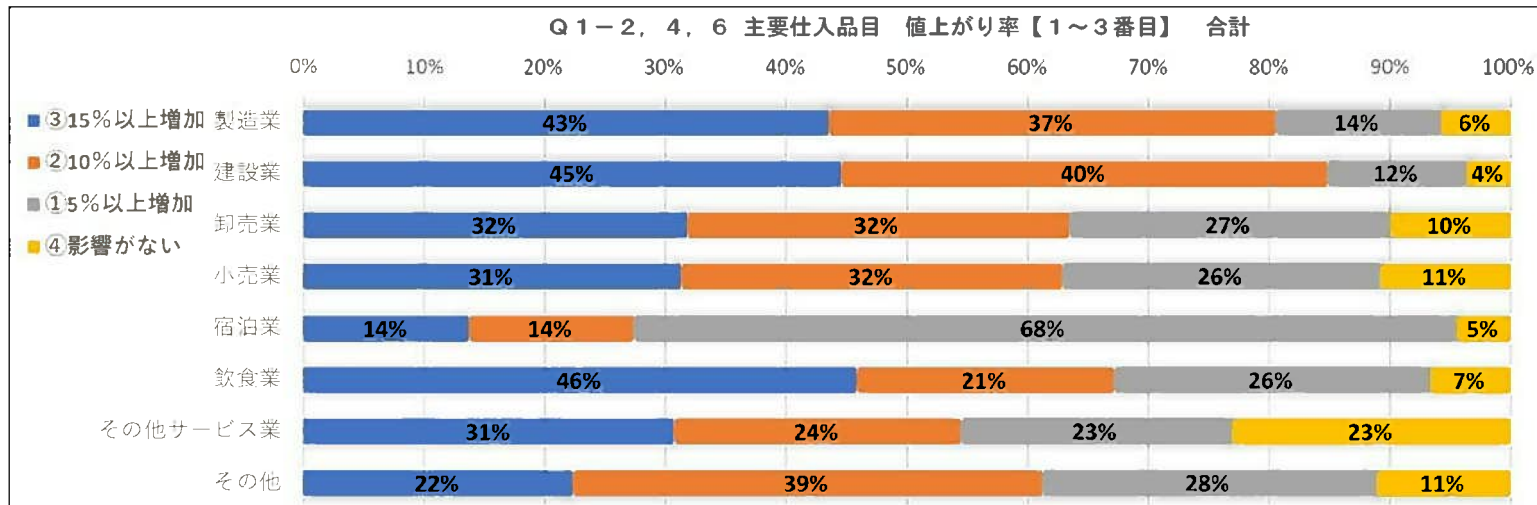
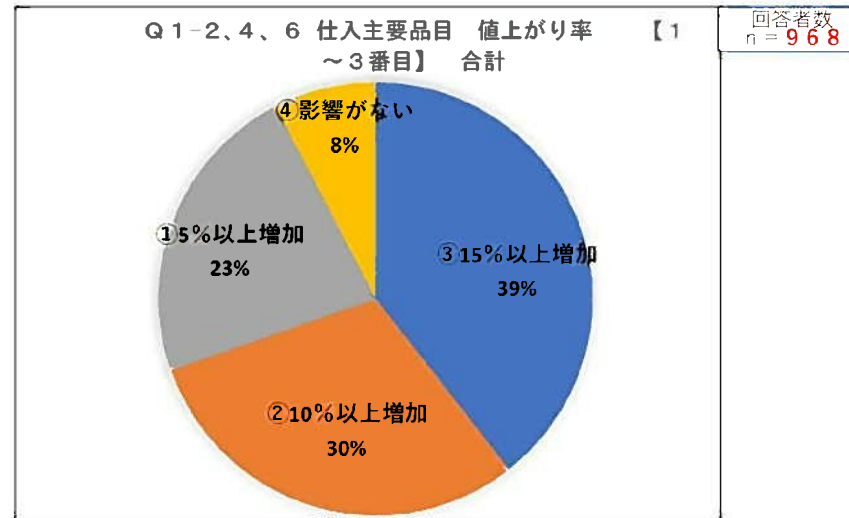


小売業	116	26%
その他サービス業	93	22%
飲食業	64	15%
建設業	74	14%
製造業	58	13%
卸売業	26	6%
宿泊業	8	2%
その他	13	2%
計	452	100%

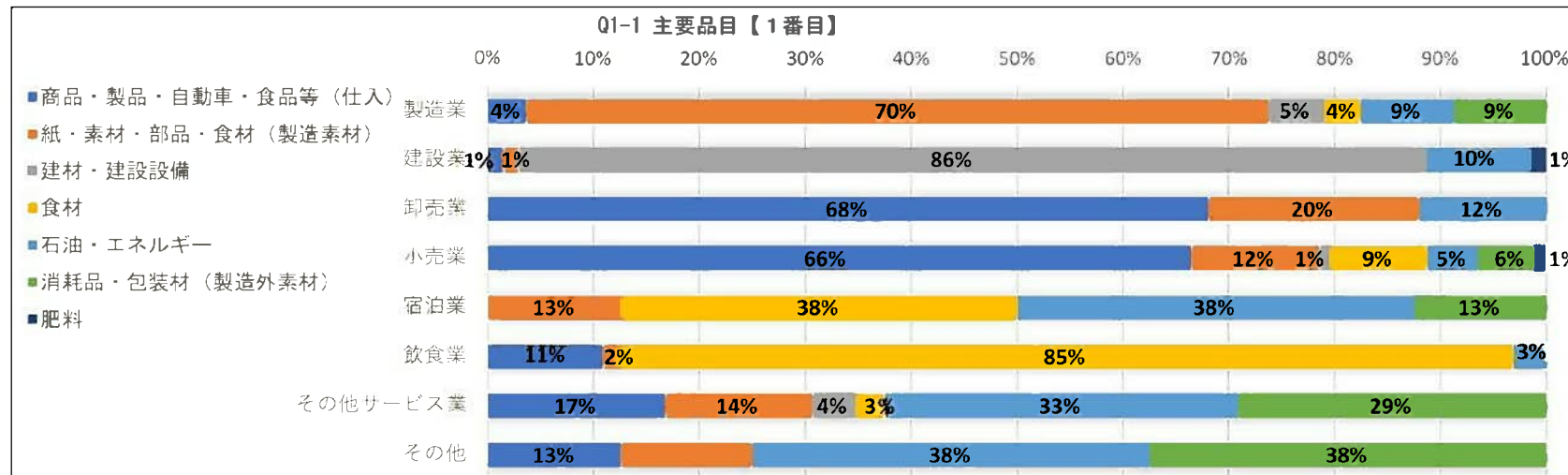
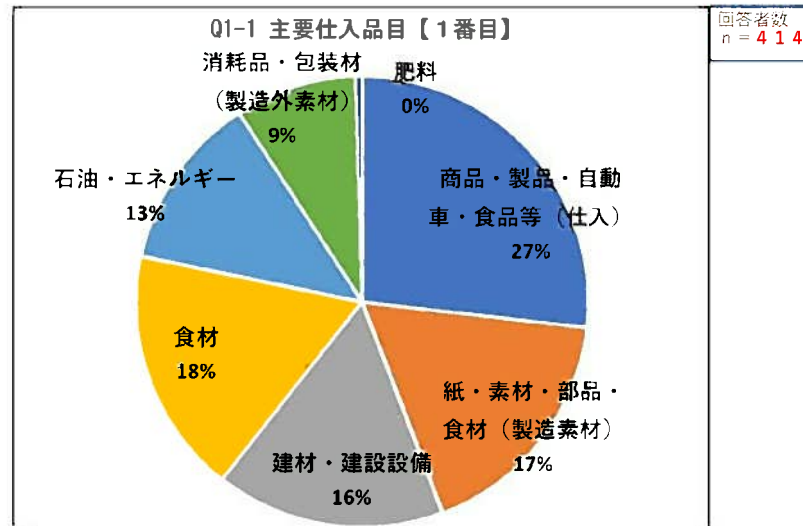
②御社の仕入（食材、建材、部材、商品・製品、電気、ガソリン・軽油等）の影響状況を教えてください。
 Q1（1） 御社の主要仕入品目を教えてください。＜【1～3番目】Q1-1, 3, 5の合計＞



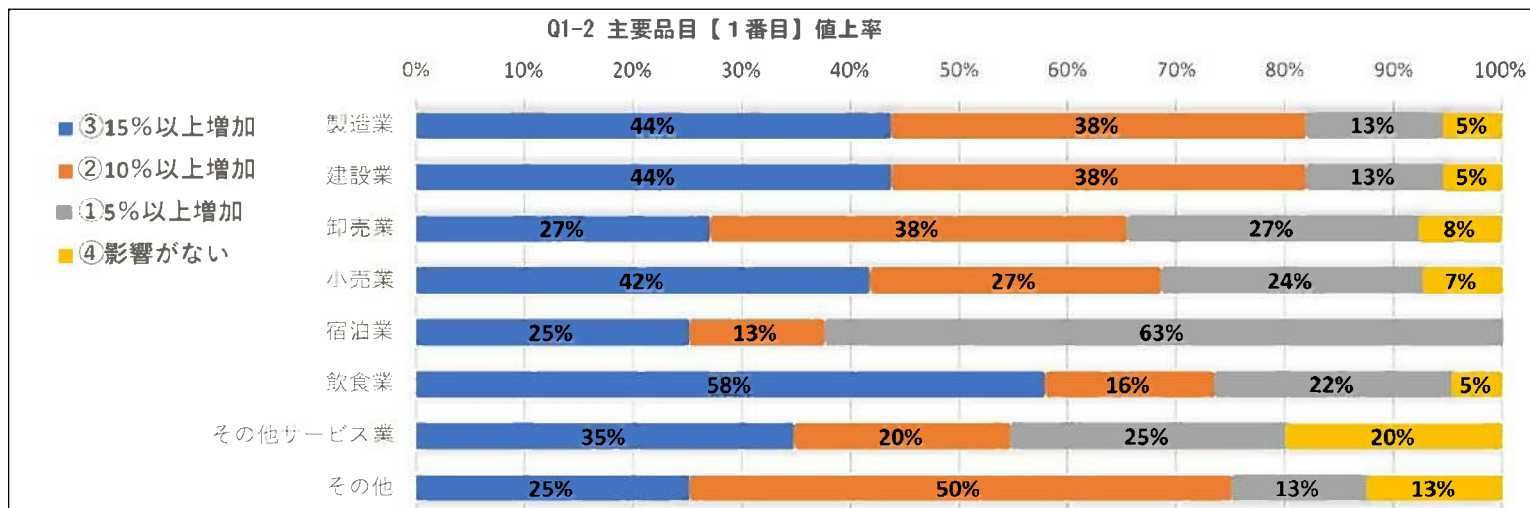
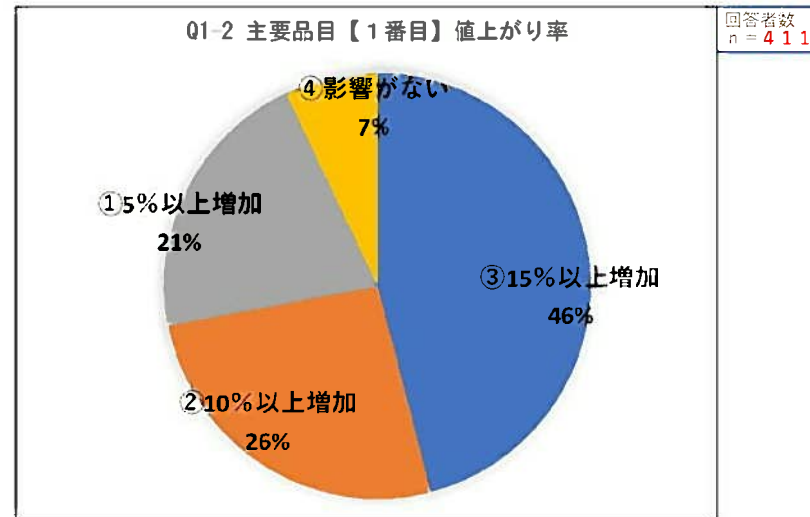
Q1（2）主要仕入品目の値上がり率（前年対比）をご回答ください。＜【1～3番目】Q1-2, 4, 6の合計＞



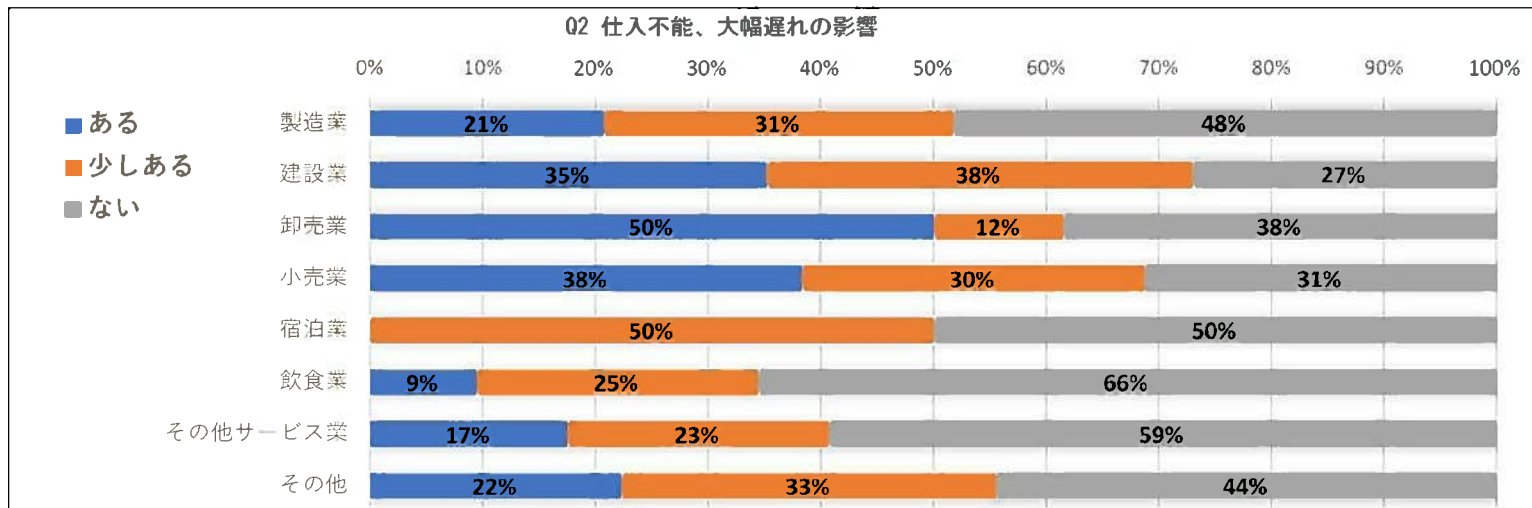
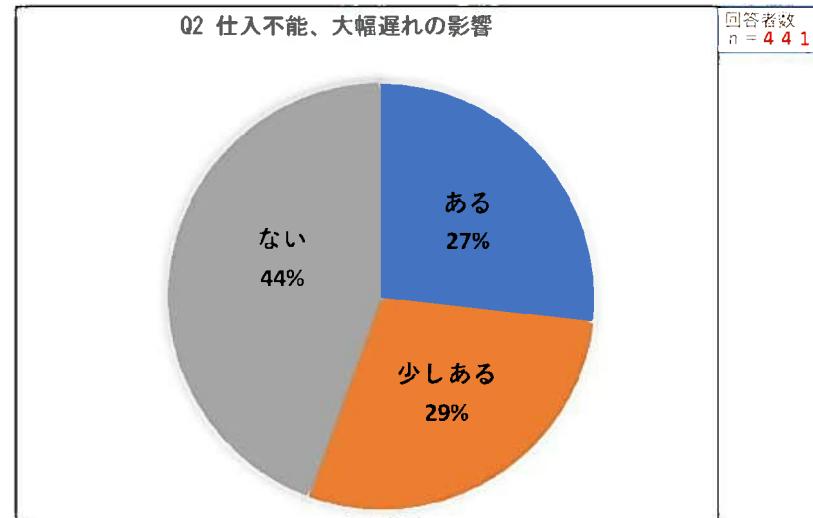
Q1 (3) 御社の主要仕入品目【1番目】（上位3つの内）を教えてください。



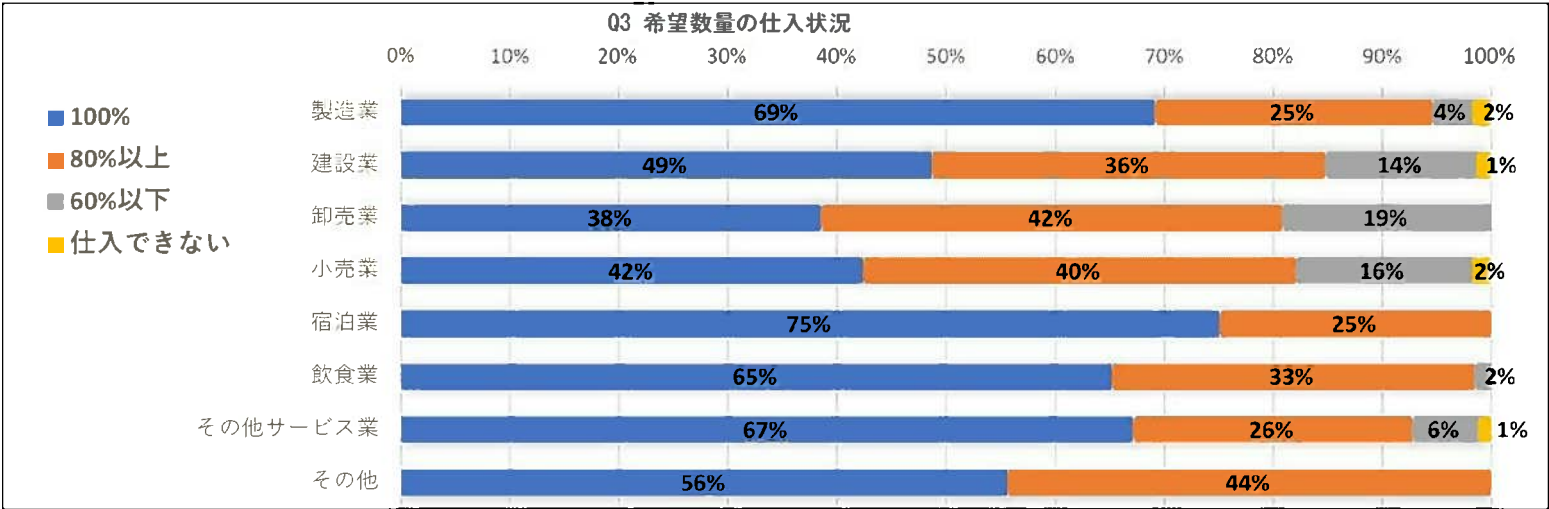
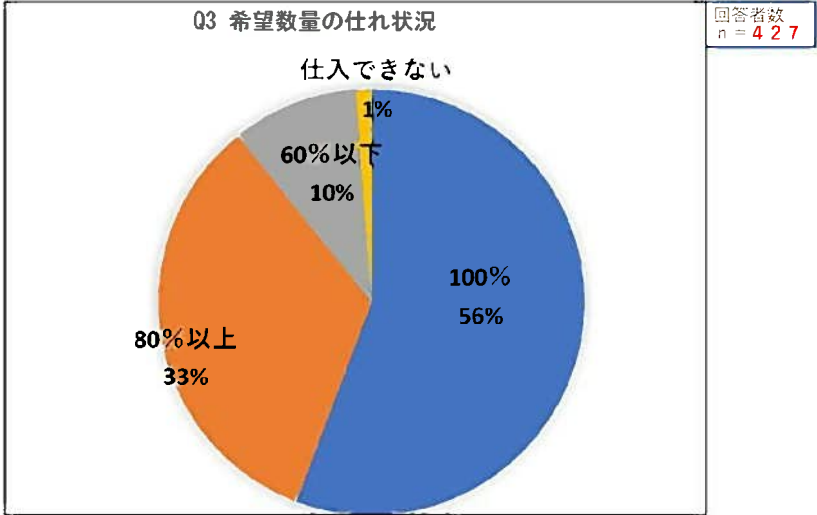
Q1(4) Q1(3) 主要仕入品目【1番目】(上位3つの内)の値上がり率(前年対比)をご回答ください。



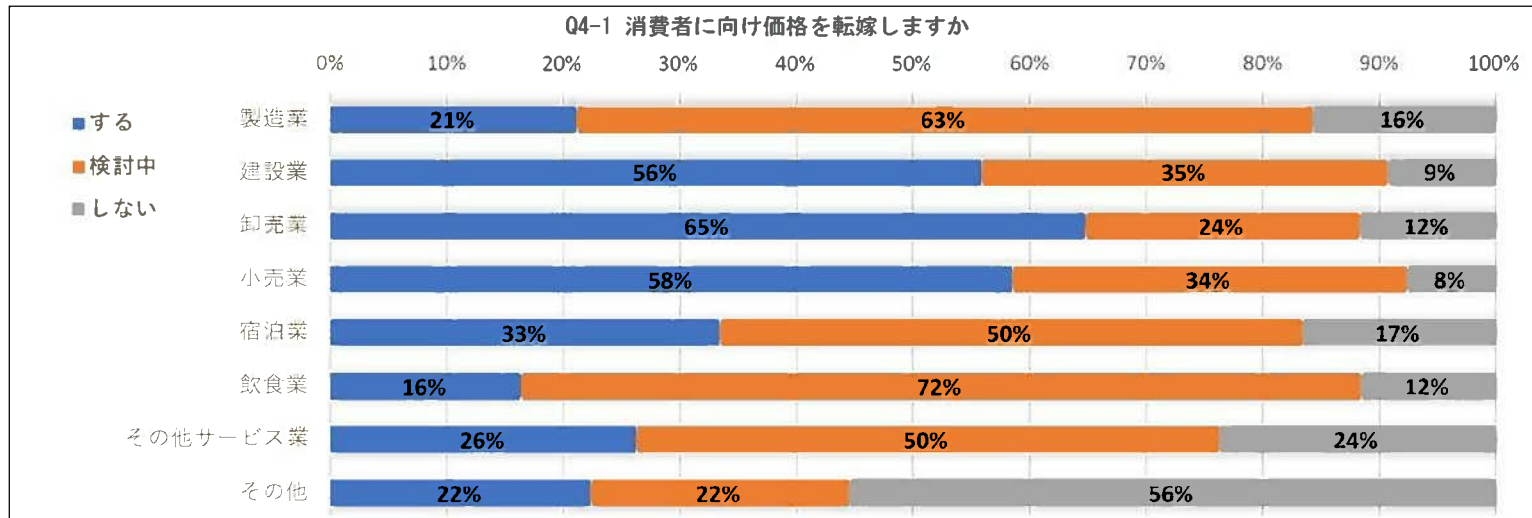
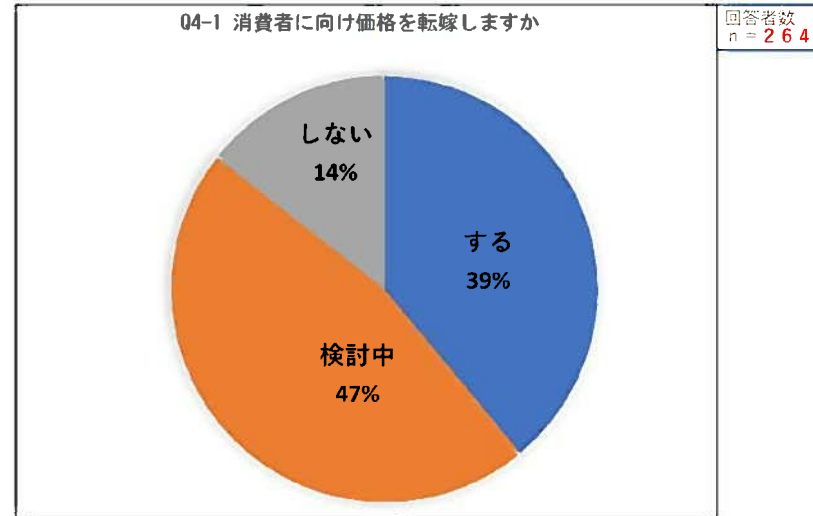
Q2 仕入不能、大幅遅れの影響



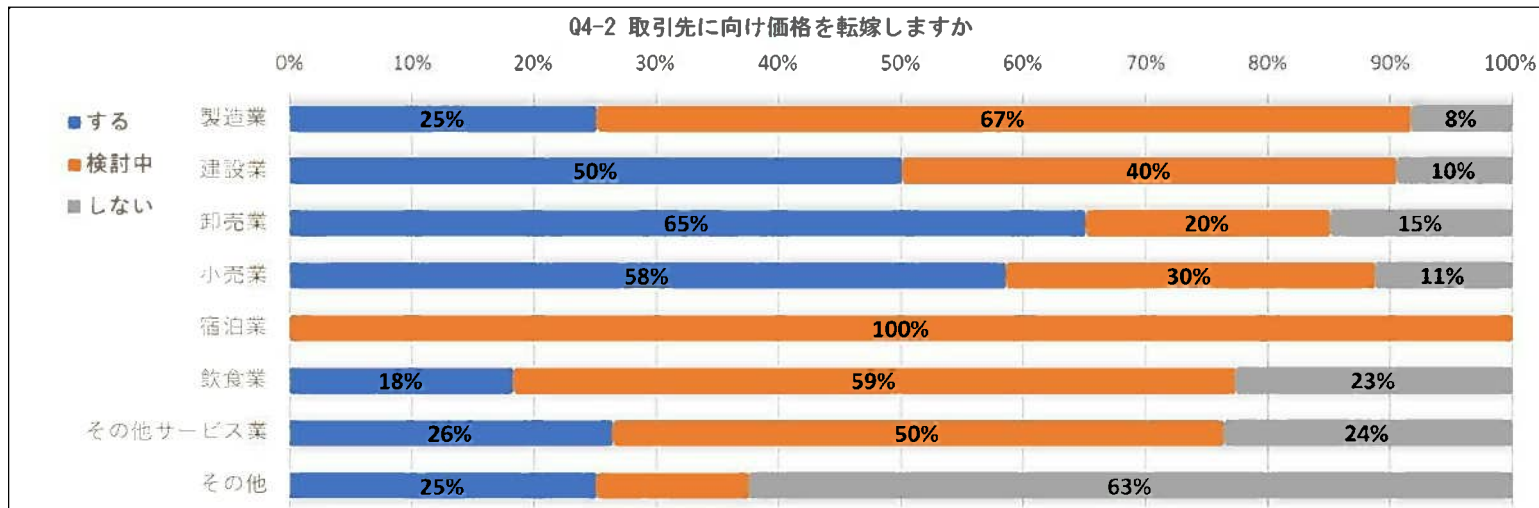
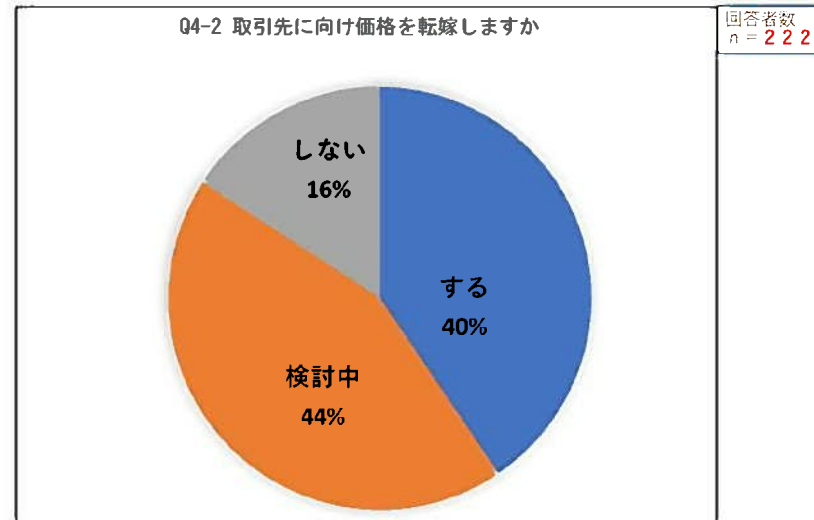
Q 3 希望数量の仕入状況



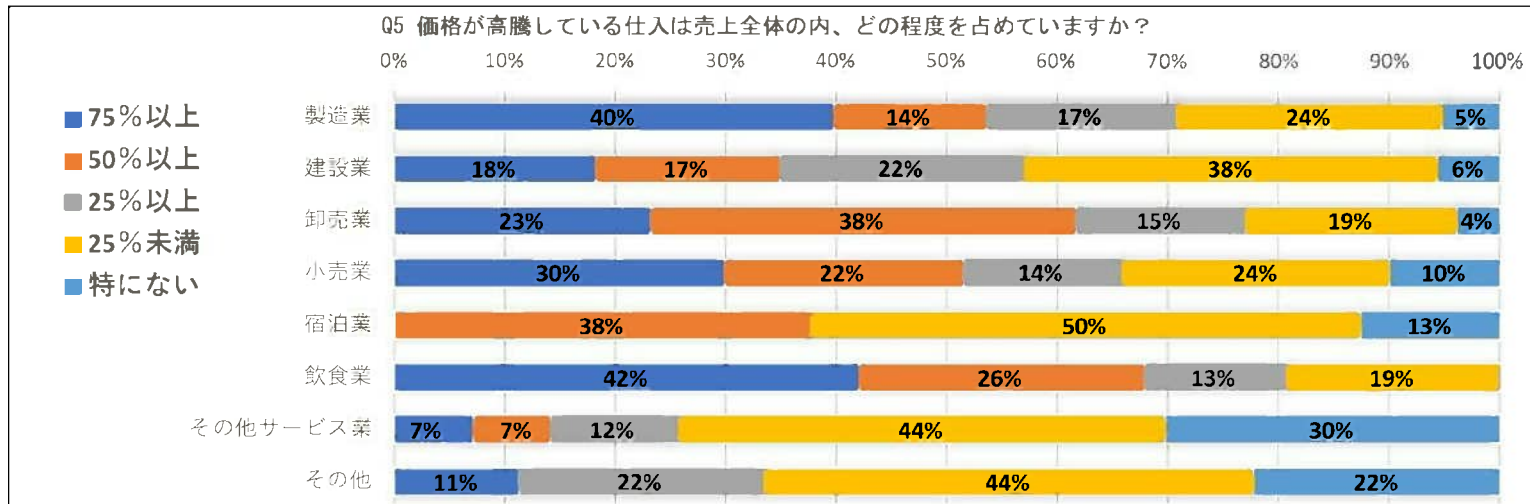
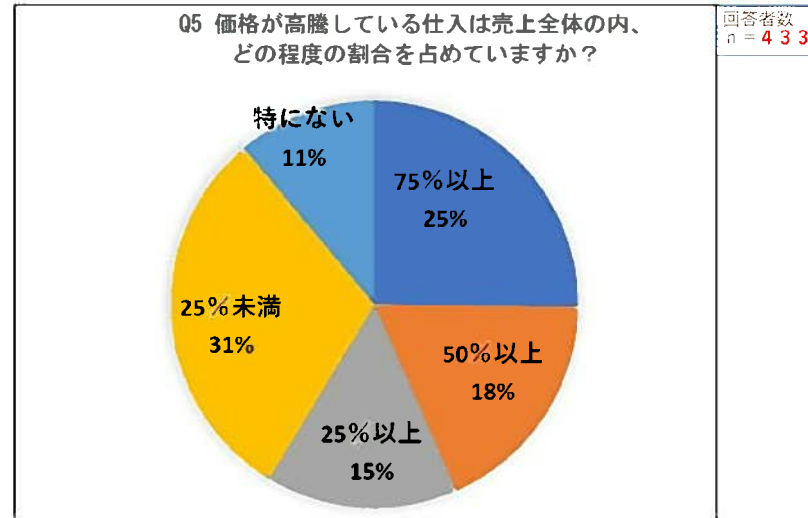
Q4) (1) Q1)で3つの各品目の値上がり率を①~③をご回答された方へ。
 【消費者】に向けて仕入値上り分を商品・サービス価格に転嫁しますか？



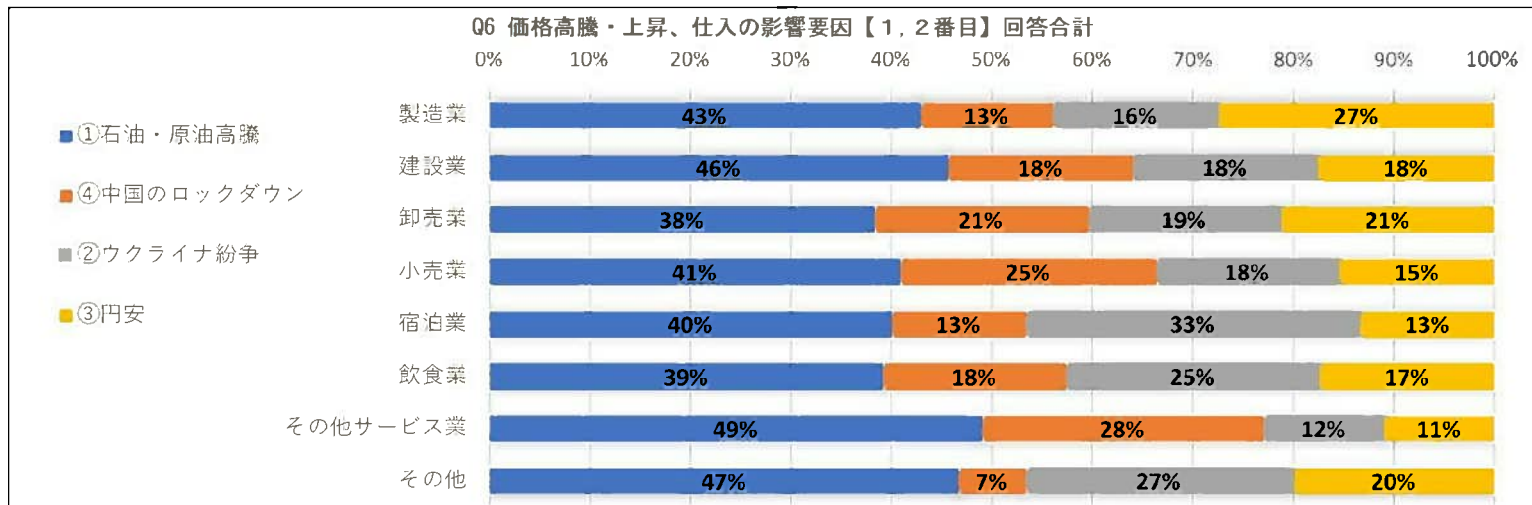
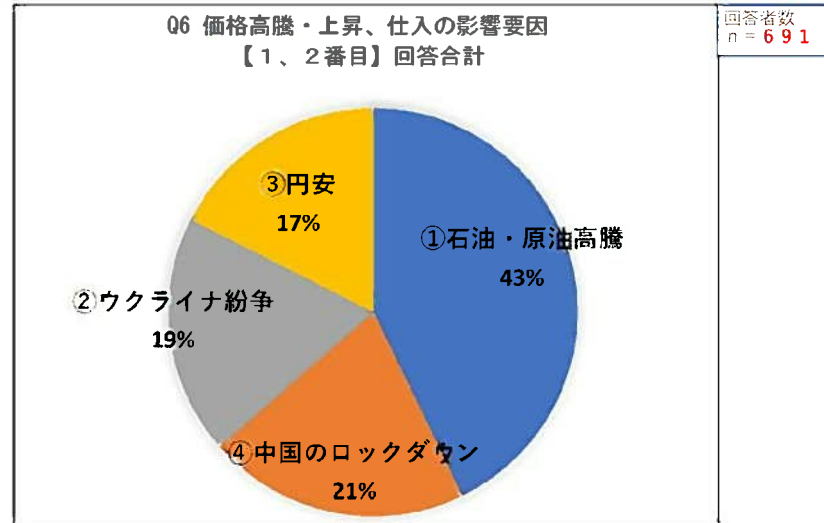
Q4) (2) Q1)で3つの各品目の値上がり率を①~③をご回答された方へ。
【取引先】に向けて仕入値上り分を商品・サービス価格に転嫁しますか？



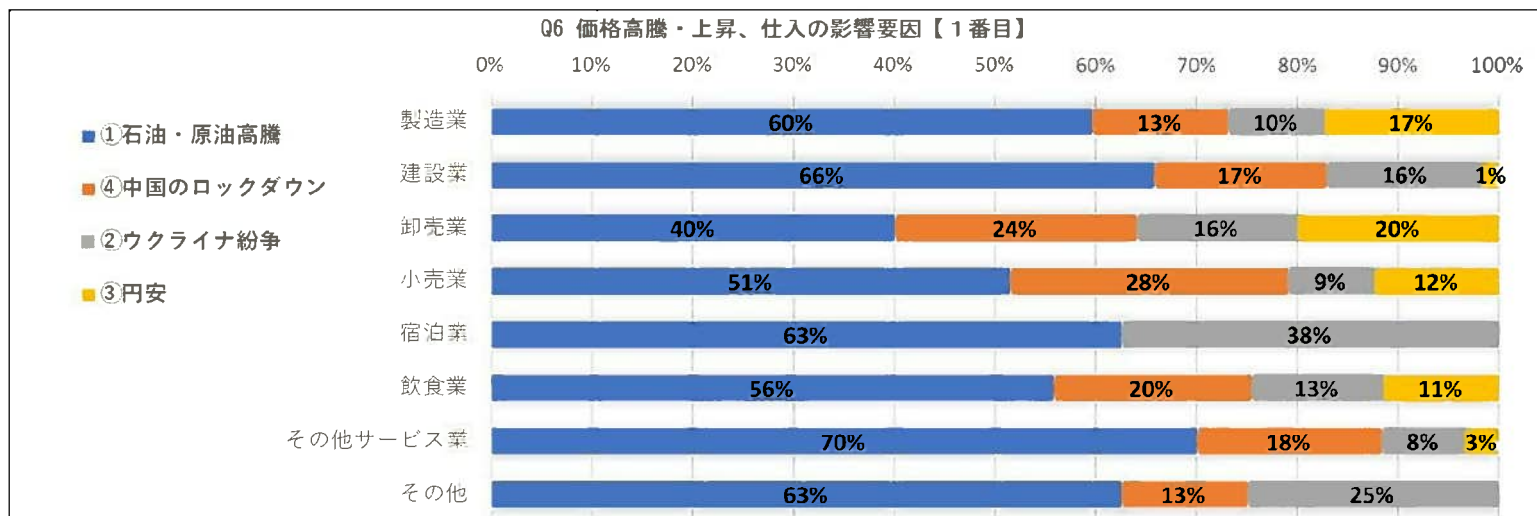
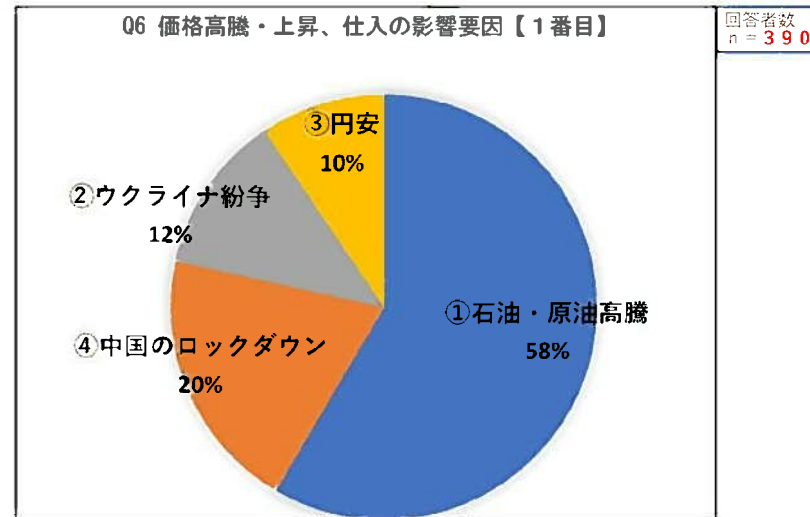
Q5 価格が高騰している仕入は、売上全体の内、どの程度の割合を占めていますか？



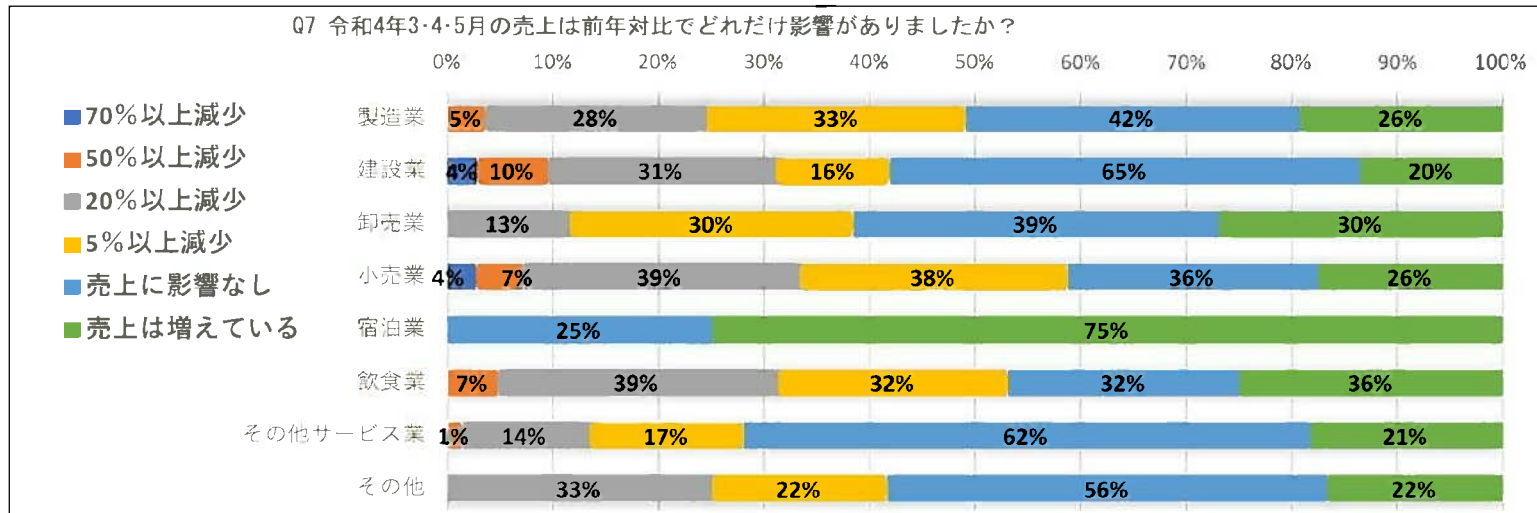
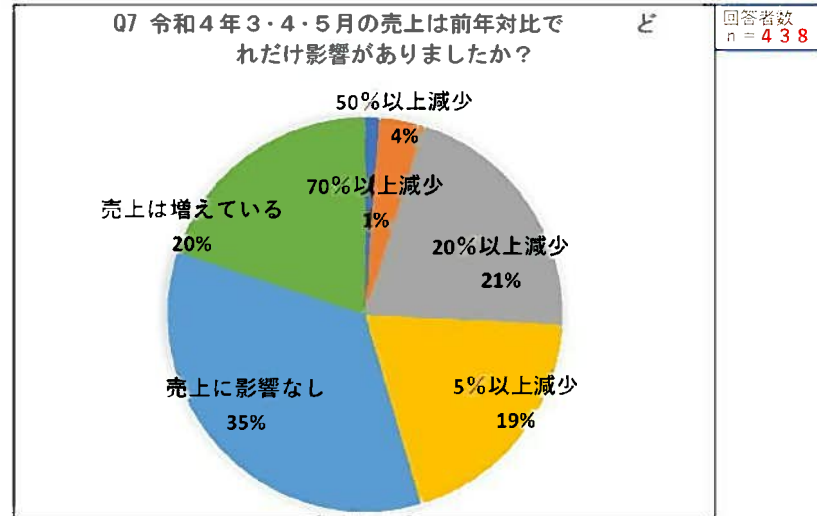
Q6 (1) Q1で3つの各品目について選択肢①～③をご回答された方へ。
 価格高騰・上昇、仕入の影響要因を①～④より選択し、順位をつけてください。(1番目と2番目回答 合計)



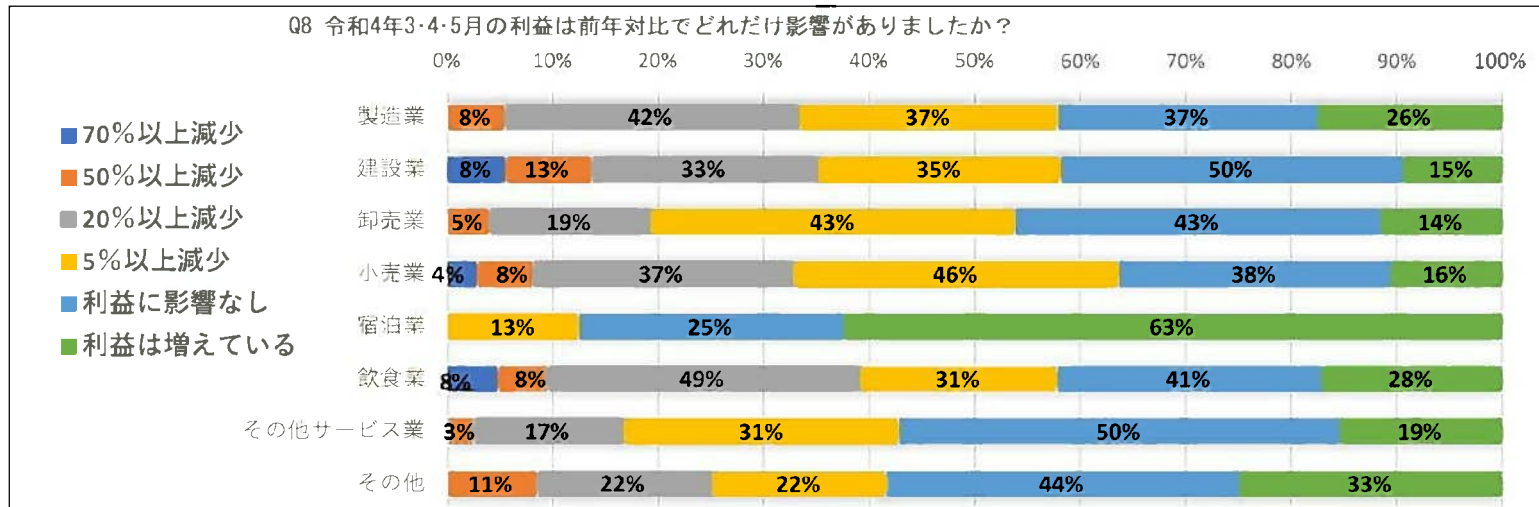
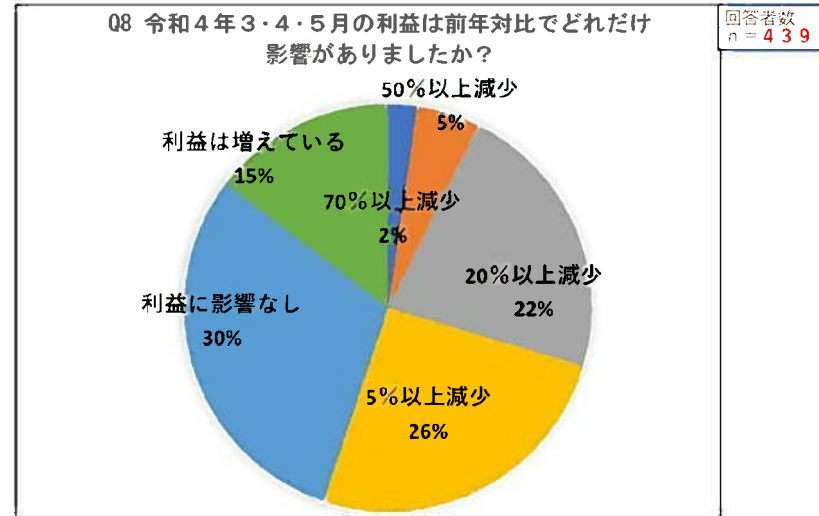
Q6 (2) 価格高騰・上昇、仕入の影響要因を①～④より選択してください。【1番目】



Q7 令和4年3・4・5月の売上は前年対比でどれだけ影響がありましたか？

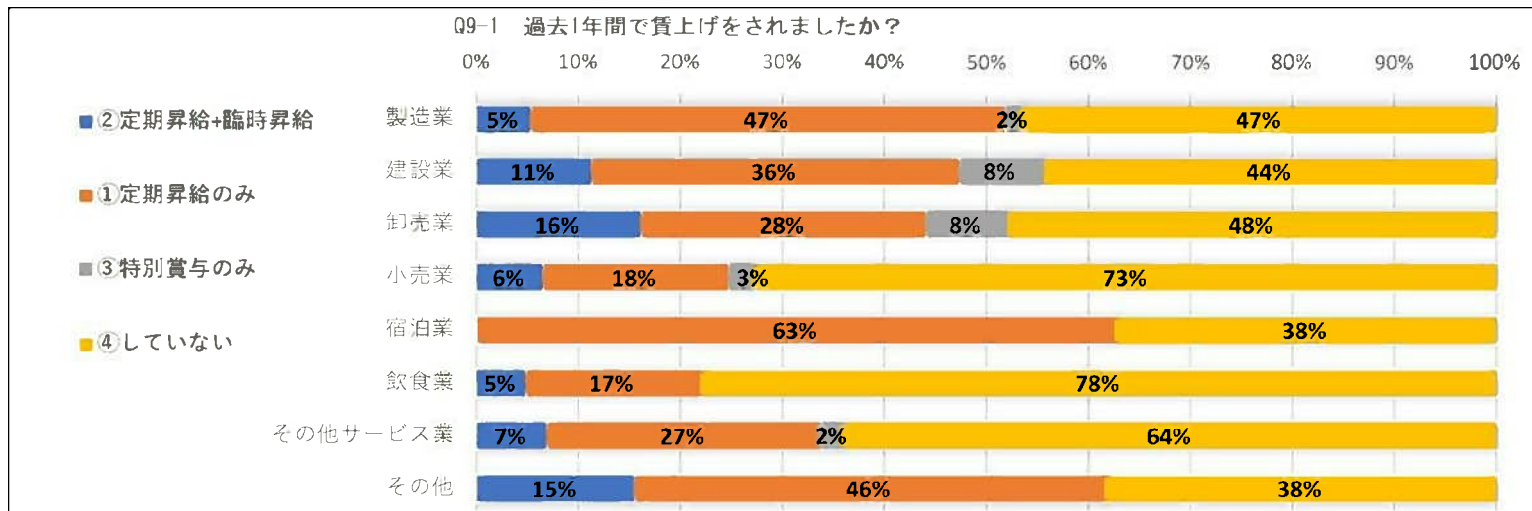
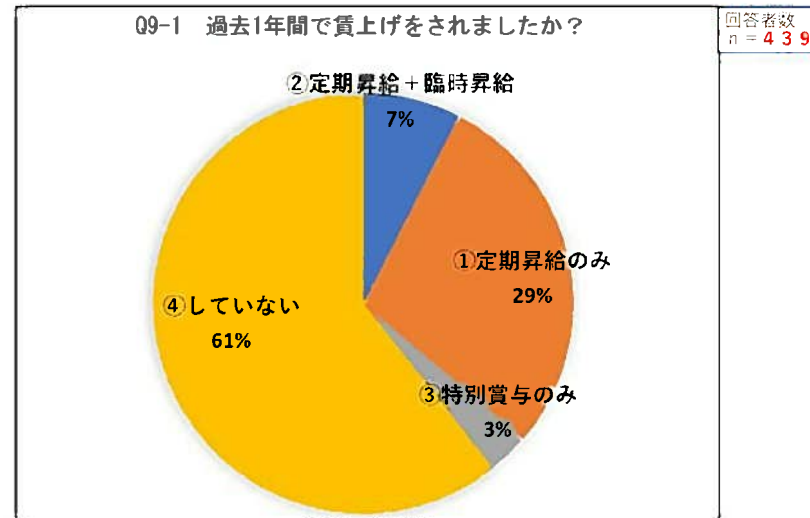


Q8 令和4年3・4・5月の利益は前年対比でどれだけ影響がありましたか？

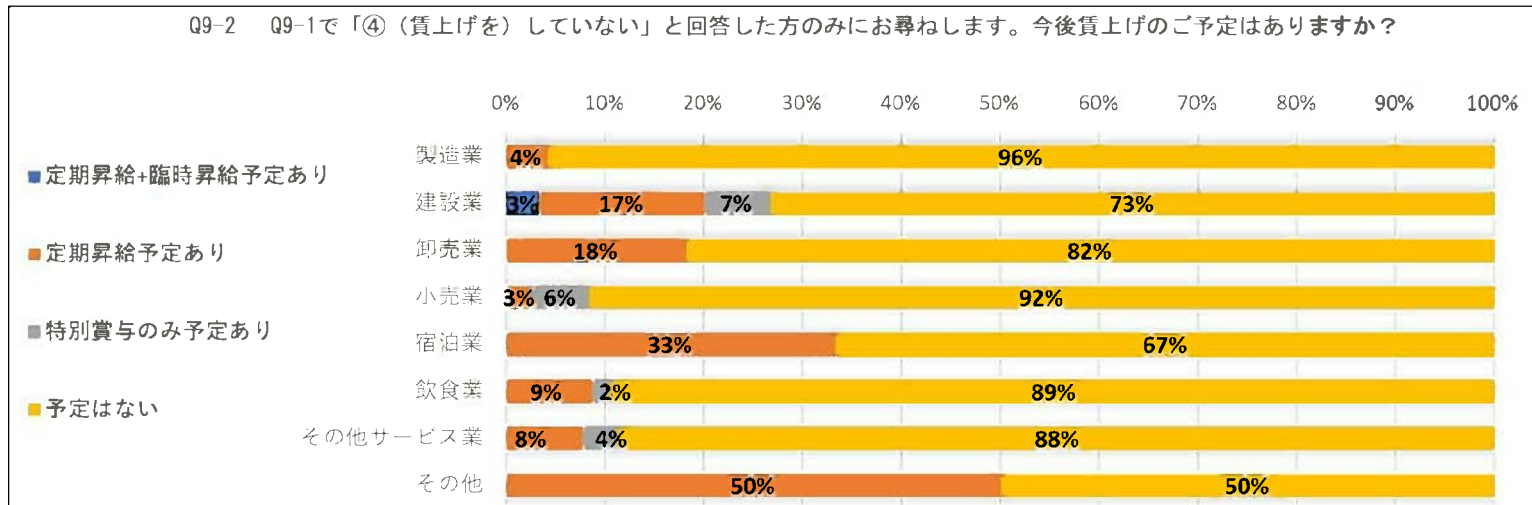
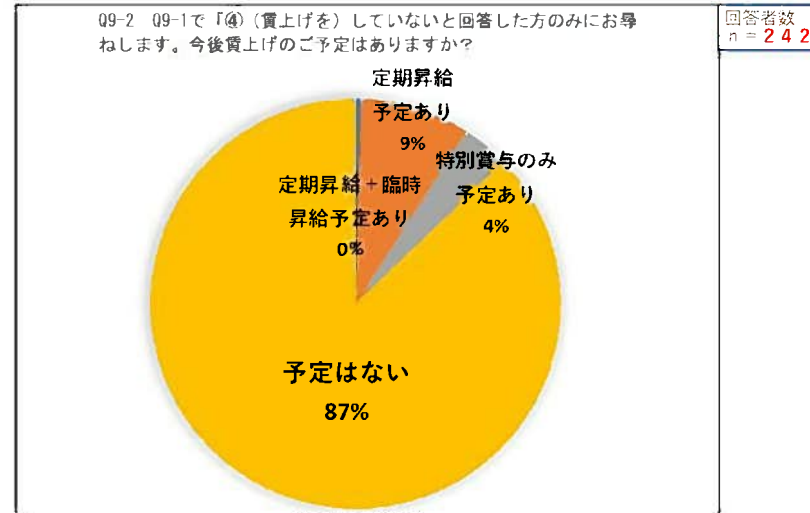


③賃上げの状況

Q9-1 過去1年間で賃上げをされましたか？



Q9-2 Q9-1で「④（賃上げを）していない」と回答した方のみにお尋ねします。
今後賃上げのご予定はありますか？



Q10 従業員・パートを募集して応募がありますか？

